

令和4年度第2次補正  
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

# 探究的な学び支援 補助金2023

## 効果報告レポート

【事業者名】

ウィンバード株式会社

【サービス名称】

授業支援 for Chrome / Edge

【サービスの機能分類】

区分B メインツール

2024年1月

教育への新しいビジョンを

# Win Bird

# ■探究学習等サービスの概要

- 1人1台端末環境における **授業支援システム**
- 教職員の **スムーズな授業進行を支える** 機能に特化
- インターネットに接続できる環境なら、**校内・校外どこでも** 使用可能

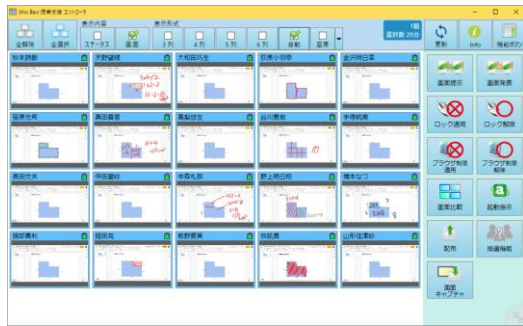
## ① GoogleやMicrosoftサービスとの高い親和性

## ② 児童生徒の画面全体をモニタリング



Google Classroom / Microsoft Teams のクラスに登録されている児童生徒・教職員名やグループが自動的に反映されます。

ClassroomやTeamsの環境内で、すぐに利用開始できます。



特定のアプリケーションやブラウザ画面だけでなく、デスクトップ全体をモニタリングできます。

ドリル教材など、どのようなアプリケーションを使用中でも状況を把握することができます。

● 参考価格：80円/月・人

# 教科・学年にとらわれることなく あらゆる学習シーンで活用可能



## 手元で意見を共有 画面提示 / 発表

画面提示では、先生機の画面を生徒機に一斉または個別に転送します。  
画面発表では、特定の生徒機の画面を他の生徒機や先生機の画面に一斉に転送します。



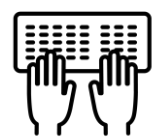
## 創作・表現活動への集中 ブラウザ制限適用 / 解除

除外設定されたWebサイトや指定されたアプリ以外のWebページの表示を制限します。  
活動に集中させるだけでなく、CBTテスト実施時のカンニング対策にも活用できます。



## 授業のスムーズな進行、操作補助 起動指示、URL転送

WebアプリケーションやWebサイトのURLを転送・起動します。  
Googleアプリは共有状態から始められ、操作の手間を省けます。  
パソコン操作に不慣れな段階での操作補助としても活用できます。



## 授業進行のメリハリ ロック適用 / 解除

キーボード・マウス操作をロックします。  
ロックまでの時間・時刻の指定をすると、時間を区切った調べ学習やパソコンを使ったテストに活用できます。



## 生徒の思考整理、意見交換・共有 画面比較

メイン画面とは別のウィンドウでモニタリングをします。  
比較画面を並べ替えたり絞り込んだりすれば、生徒の考えを整理したり話し合い活動に活用したりすることができます。



## 偏りなく生徒に発言・活動機会を与える 抽選

生徒機からランダムに1名を抽選します。  
選ばれた生徒の画面は他の生徒機へ転送したり拡大表示したりすることができ、発表活動に活用できます。

## 課題

### 学習用端末の活用機会が十分に与えられていない

- 児童生徒の画面上の状況把握ができない
- 児童生徒の操作制限/不正利用の抑止ができない



## 解決策

### 安心して利用できるようにし、端末の活用率を向上させる

- 画面モニタリング機能で児童生徒の状況をリアルタイムで把握し、最適なタイミングで個に応じた指導ができるようにする

### 授業展開がスムーズにいかない

- 児童生徒が学習用端末の操作に夢中になってしまうことがある
- 先生や児童生徒の画面を見せたいが、電子黒板などへの移動や接続操作に手間や時間がかかる



### 操作時間を短縮し、学びの時間を確保する

- 任意のタイミングで児童生徒の操作制限ができるようにし、メリハリのある授業展開ができるようにする
- 先生側の操作のみで画面共有や電子黒板への画面表示ができるようにし、児童生徒の移動や操作を省略する

### 学び方が限られてしまう

- 児童生徒同士の画面を共有することができず、他者の考えを参照する機会の確保が難しい



### 多様な学び方を確保する

- 画面比較機能や画面発表機能でいつでも他者の考えを参照することができる環境を整える

スムーズな授業展開と多様な学び方を確保し、考えの可視化と共有を瞬時に行える「授業支援システム」の導入

# ■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

対象学年：全学年、対象教科：全教科

## 児童生徒の学習状況の可視化

授業における課題

児童生徒の画面での状況が把握できない



手立て

授業支援システムのモニタリング機能を使用

- 児童生徒の学習用端末の使用状況を把握できるようになった。
- 机間指導と比べて一度に多くの児童生徒の状況を捉えられるようになり、児童生徒の疑問やつまづきをすぐに気づけるようになった。
- 個別学習や一斉学習などの学習形態の切り替えがシームレスにできるようになり、複線型授業の促進に役立った。
- モニタリングされているという意識から、きちんとやらなければならないという学習への取り組み意識が高まった。





# ■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

対象学年：全学年、対象教科：全教科

## 児童生徒の学びの共有

授業における課題

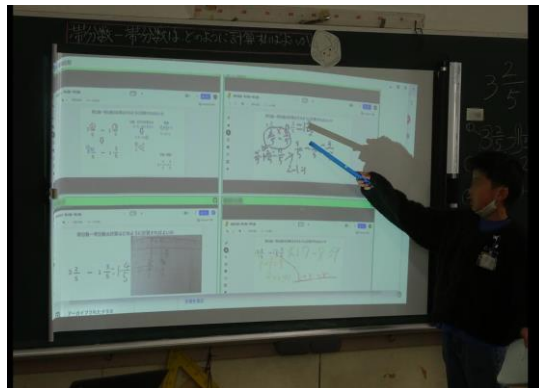
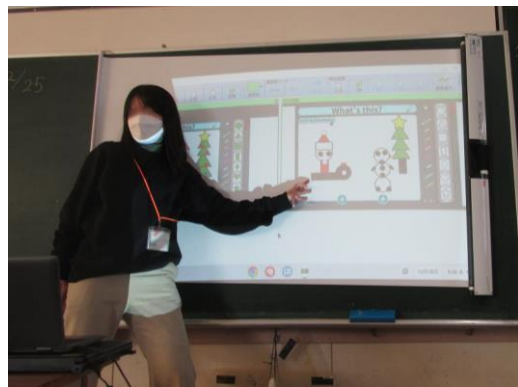
先生から児童生徒へ、児童生徒間の画面共有ができない  
(または手間がかかる)

手立て



授業支援システムの画面提示、画面比較機能を使用

- 先生機のモニタリング画面を電子黒板やプロジェクタに接続すれば児童生徒の画面を投影できるため、いつでも画面共有ができるようになった。
- 児童生徒画面を一覧表示、比較表示できるため、他の児童生徒の画面を見て多角的な考察ができるようになった。
- 児童生徒機を電子黒板やプロジェクタに接続するための移動や接続の手間が省けたため、効率的な授業展開ができ、考える時間を多く確保できるようになった。



# ■ 探究的な学び支援補助金における導入実績



## 自治体数 (単位：地域)

県	1
市	20
区	1
町	4

合計 26



## 学校数 (単位：校)

小学校	389
中学校	177
その他*	14

合計 580

\* 義務教育学校、高等学校、特別支援学校

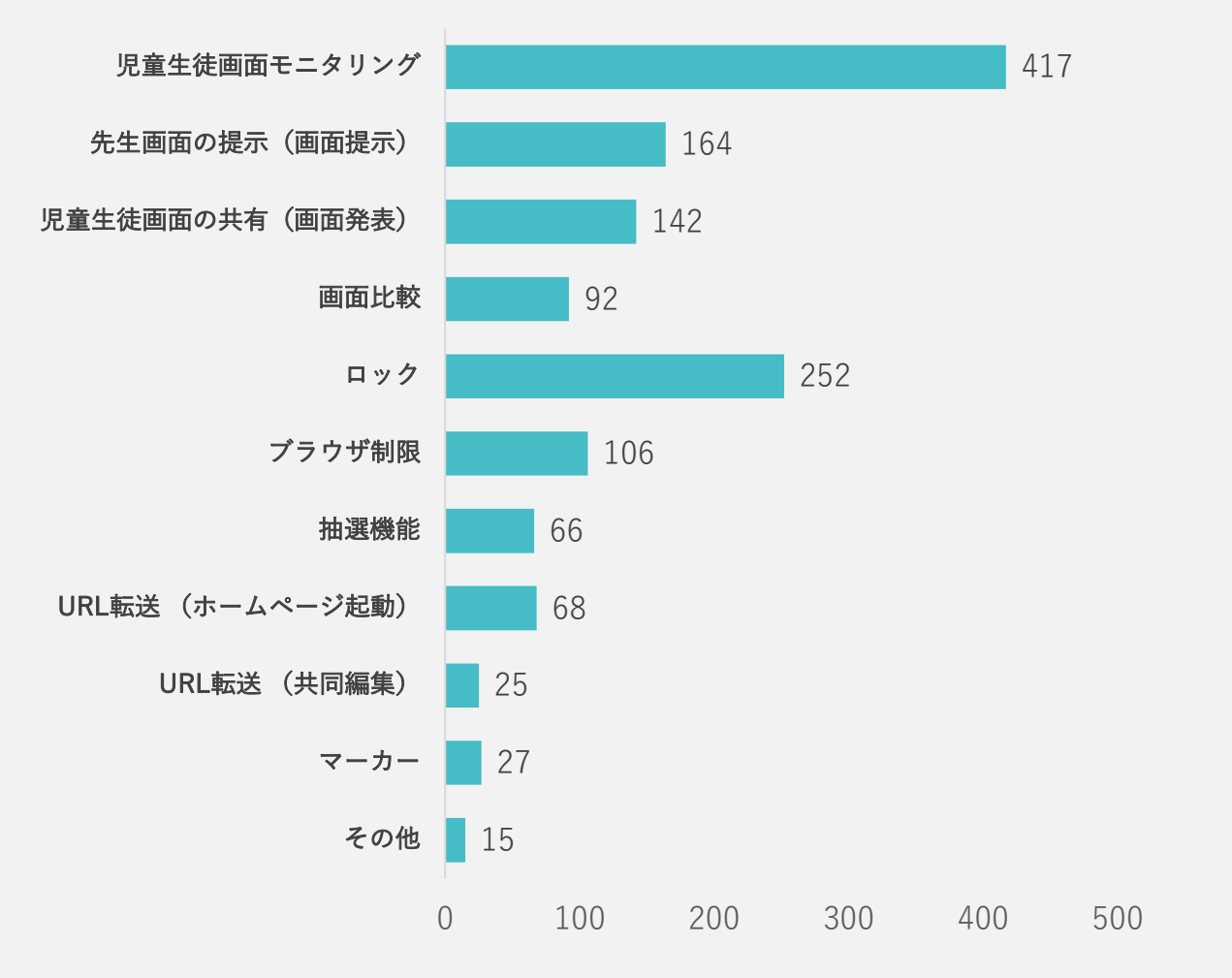


## ライセンス数 (単位：ユーザー)

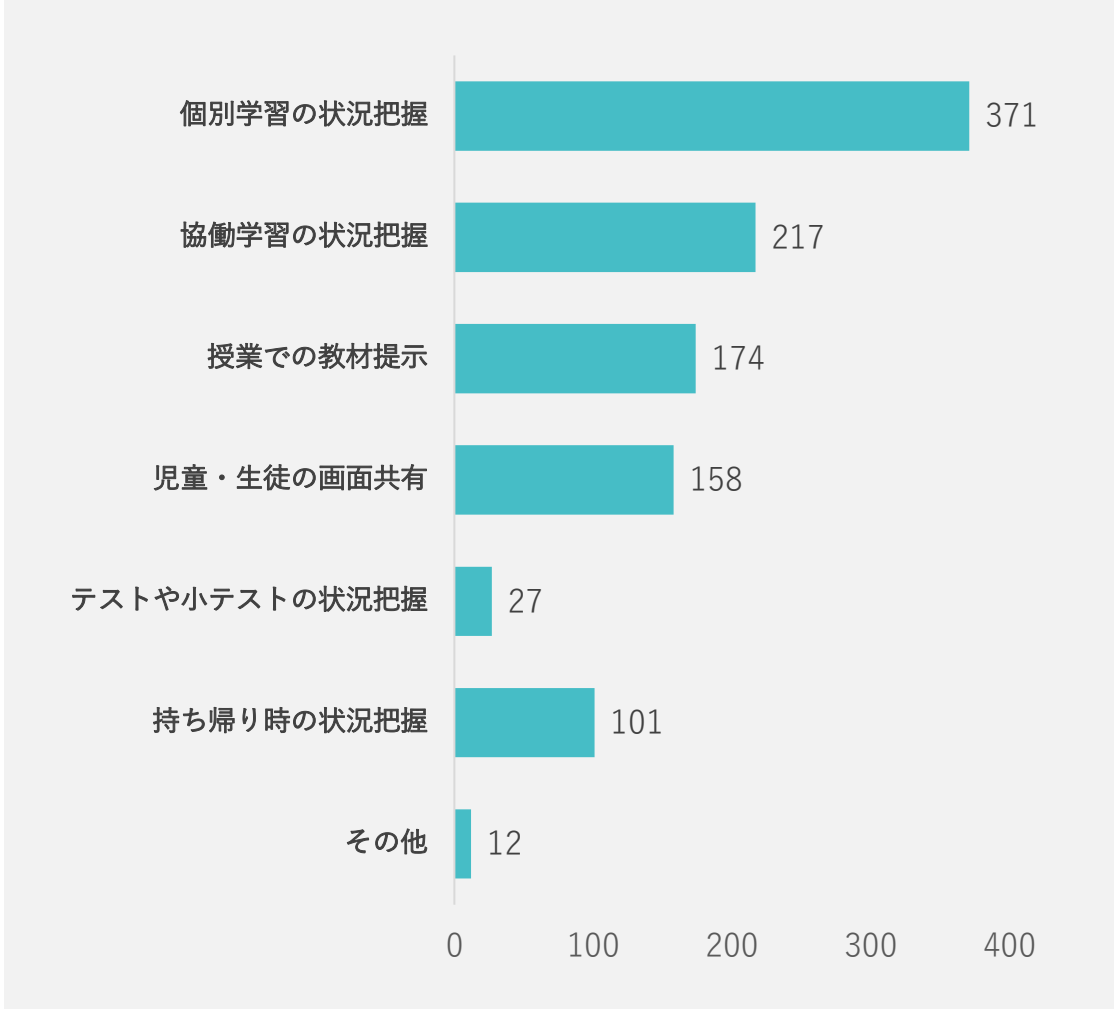
教員	15,957
児童・生徒	216,493

合計 232,450

## 1. 授業支援のどの機能をよく利用しましたか。



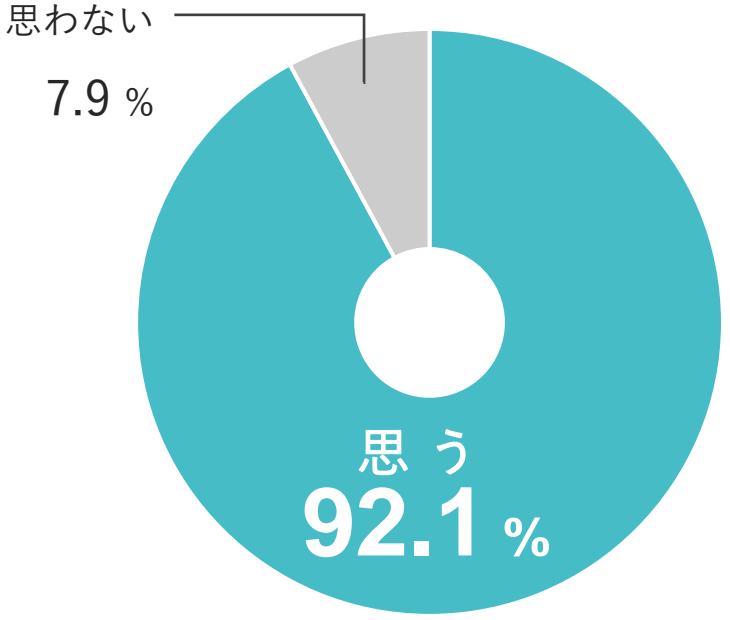
## 2. 授業支援をどのようなシーンで利用しましたか。



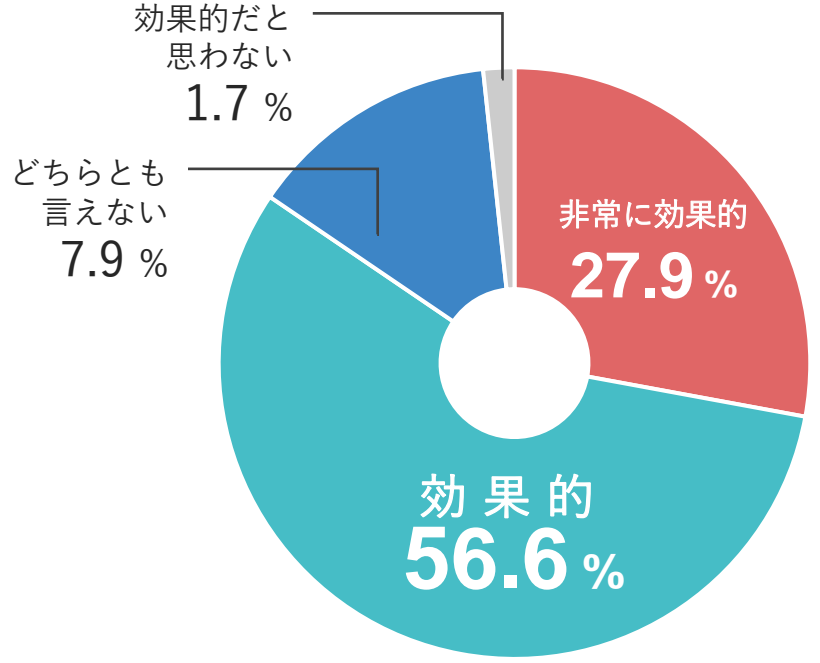
(複数回答可、各 458件の回答)



3. 授業支援はICT（タブレットやソフト、電子黒板など）の活用推進につながっていると思いますか。

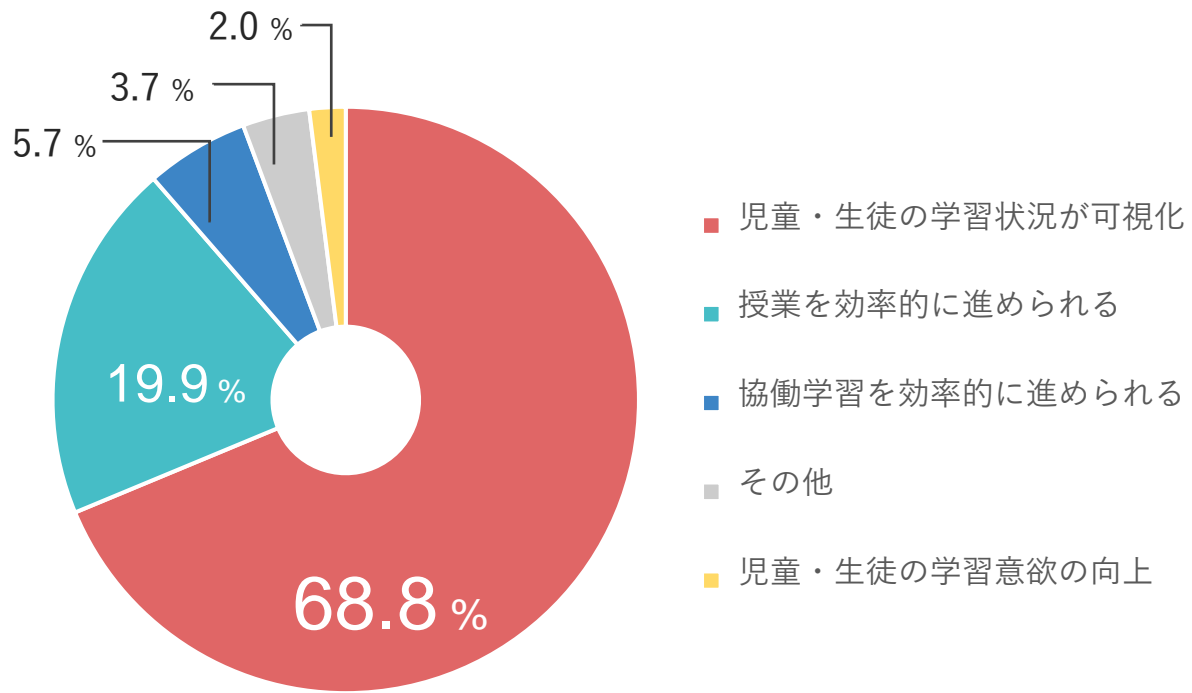


4. 授業支援は子どもたちの学習において効果的なツールだと思いますか。



(各 458件の回答)

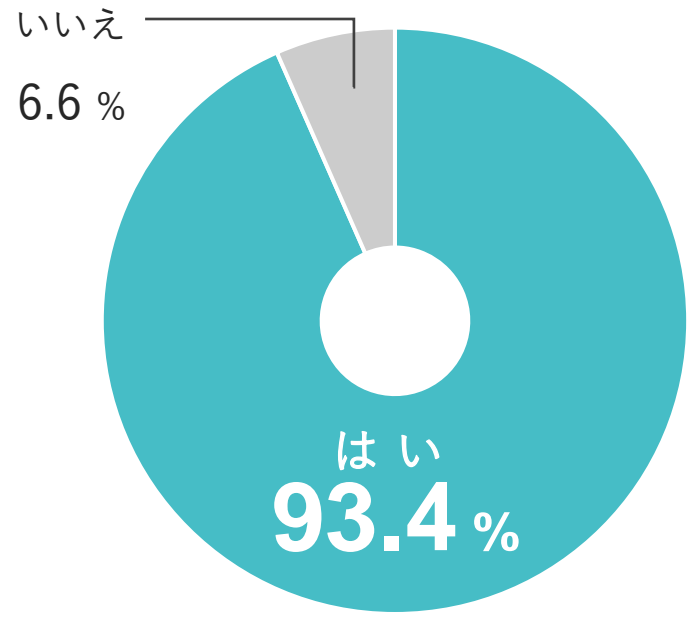
5. 授業支援 を利用することでどのような効果が得られた  
と思いますか？



「その他」の回答（一部）

- 抽選機能などにより、より楽しく授業展開ができるようになった
- 先生の負荷軽減につながった

6. 授業支援 を引き続き使いたいですか？



(各 458件の回答)

# ■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

## 課題

### 使用率の向上と、効果的な活用の拡大

- 使い方の周知がされていない  
(導入されていることを知らなかった、使い方がわからない)
- OSのアップデートによる影響、運用環境  
(使用できないときがある)



### 使用方法や最適環境の周知

- 講習会や勉強会を開催する
- マニュアル（動画、PDF）を公開する
- 定期的なOSのアップデート適用の案内をする
- 環境改善の紹介（提案）をする

### 使用における不安感の解消

- プライバシーの観点からの不安  
(「監視」になってしまわないか、授業時間外でもモニタリングができてしまう)
- その他 製品仕様上の制限や設定上の課題  
(画面提示中は児童生徒画面を見ることができない、100人以上に対応してほしい、ホーム画面にショートカットがほしい等)



### 使用モラルの周知、仕様改善

- 製品の位置づけや使い方を周知する
- プライバシーに配慮した設定の案内をする
- 製品仕様の説明をして理解を得る。改善可能な課題は検討し、対応する
- 最適（推奨）環境設定の案内をする

※ 教育委員会様/学校管理者様と協力しながら進めていく



Win Birdの画面を電子黒板に映し、児童の作業内容を全員で把握することで、児童同士が作業の進捗を確認できたとともに自分の画面を全員に見られていることから「きちんと作業をやらなければならない」という意識が児童自身の中に芽生え、作業効率が上がった。



学級閉鎖になった際に、オンライン授業で使った。生徒が家でタブレットを開いて作業する際、何をしているかが明確化できた。

回答してほしいアンケートや見てほしい動画のURLを転送し、動画を見返しながら活動した。



生徒発表の際、タブレットをプロジェクターに付け替える必要がなく、スムーズに投影できる。また、机間指導時にその場で全員で共有したい生徒がいた場合瞬時に投影できるため、授業を効率的に進められる。





道徳の授業を、URL転送や画面のモニタリング、画面共有、抽選を使って行ったが、効率的に授業を進められて、生徒が考える時間を多めに取ることができた。また、生徒が抽選機能を面白がっていたため、発表への忌避感が少なかったように感じた。



オンラインになったとしても、課題を配布し状況を把握できる。道徳で考えを比較するのに活用した。

総合的な学習の時間において、クラス毎の班活動を実施している際であっても、副担任が職員室等から生徒の状況を把握することができ、担任を手助けすることができた。



画面のモニタリング以外にも、授業での教材提示や生徒の画面共有等、活用の幅を広げていきたい。



クイズ番組のように、発問に対して一斉に回答を表示することができる。





# ■会社概要

教育への新しいビジョンを  
**Win Bird** ウィンバード株式会社



設立	1991年4月
代表者	代表取締役 山下 好子
所在地	〒431-0301 静岡県湖西市新居町中之郷3994
事業内容	教育ソフトメーカー 官公庁向けソフト開発及びコンサルティング業務
加入団体等	一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC) 一般社団法人 ICT CONNECT 21 Google For Education Partner Microsoft Partner 一般財団法人 全国地域情報化推進協会 (APPLIC) 一般社団法人 日本教育工学協会 (JAET) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC 27001) プライバシーマーク制度
ウェブサイト	<a href="https://www.winbird-gp.co.jp">https://www.winbird-gp.co.jp</a>
問い合わせ窓口	電話 053-595-1255 / メール <a href="mailto:info@winbird-gp.co.jp">info@winbird-gp.co.jp</a> (担当：三輪 (みわ) )

The screenshot displays the Win Bird website. At the top, there's a navigation menu and a header with the company logo. The main banner features a school building and the text "子どもたちにも先生にも教育の新しいビジョンを". Below this, a section titled "教育現場のICTをサポート" (Supporting ICT in Education) includes a diagram of a school with various ICT-related icons and text. A "製品紹介" (Product Introduction) section follows, listing products like "授業支援 for Chrome" and "授業支援 for Edge".